

第7号様式（第4条関係）

まちづくりアドバイザー登録票

ふりがな	ひらた てつや
氏名	平田 哲也
所属(勤務先)	株式会社エフ・エル・ディー一級建築士事務所
連絡先	まちなみ景観課へお問い合わせください
専門分野	福祉のまちづくり・都市計画・地域環境調査
支援可能事項	<input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの進め方(ワークショップなど)について <input type="checkbox"/> まちづくりの事業手法や制度について <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの計画・ルールづくりについて <input checked="" type="checkbox"/> 建築制限、開発制限について <input type="checkbox"/> 不動産鑑定、税務、法律について <input checked="" type="checkbox"/> 防災まちづくりについて <input checked="" type="checkbox"/> その他(バリアフリー、福祉のまちづくり)
支援可能事項における実績等	<p>1989年 岩木山麓リゾート地域マスターplan (青森県岩木町) <業務内容> 地域環境調査・調査に基づくリゾートの方向性の指針づくり 地域マスターplanの作成</p> <p>1995年 新潟県岩船港港湾計画基本調査 (日本港湾コンサルタント) <業務内容> 地域環境調査・調査に基づく港湾計画作成</p> <p>1996年 山形県鼠ヶ関港港湾計画 (日本港湾コンサルタント) <業務内容> 地域環境調査・調査に基づく港湾計画作成</p> <p>1999年 裾野市茶畠地区まちづくり基本調査報告書 (裾野市) <業務内容> まちづくり基本調査 現地踏査・実態調査・まちづくり基本構想作成</p> <p>2000年 善通寺市「歩いて暮らせる街づくり」に関する推進調査報告書 ~快適住空間の創造~ ((財)都市計画協会) ※香川県の北西部に位置する39.88平方キロメートルの善通寺市を対象とした快適居住空間を創造するための調査と企画提案研究報告。 地区ごとに暮らしの基盤づくり・まちの基盤づくり・住まいの基盤づくり・地域活動の基盤作りについて研究提案した。</p> <p>2000年 まごころ都市・善通寺 (善通寺市・善通寺市中心市街地活性化基本計画)</p> <p>2002年 三鷹市TMO計画策定業務 (東京都三鷹市)</p> <p>2003年 三浦市TMO計画策定業務 (神奈川県三浦市)</p>

	<p>2004年 地域の個性を生かした面整備による中心市街地の活性化検討調査 ~城下町再生可能性調査~（鳥取県鳥取市・国土交通省） ※『市街地における城下町再生可能性調査』 全国都市再生モデル調査で、鳥取市の中心市街地に位置している中心商店街、旧城下町の住宅地および中心市街地活性化基本計画における中心市街地活性化区域を含む面積約 200ha の区域を対象対象。 観光資源を活用して、街の魅力を創造し、愛着と誇りが持てる都市として再生を図り、交流を増やすことが目的の調査研究。 鳥取市の都市核の地域資源を活かした集客・交流の強化を図ることがテーマ。 地区住民の参画によるワークショップ企画・運営 第1回ワークショップ(モデル地区現況の把握) 第2回ワークショップ(現況の把握とフィールドワーク) 第3回ワークショップ(地区課題の抽出) 第4回ワークショップ(地区課題の解決方法の模索、まとめ)</p> <p>2006年 野川柿生線景観整備基本計画（川崎市） <業務内容> 道路景観実態調査 まちづくり方針にもとづく景観整備計画の作成</p> <p>2009年 安全・安心まちづくり社会実験委託業務（調査に参加） <業務内容> 夜間照明実態調査・照明計画の基本計画作成</p> <p>2012年 聴覚障害者の障壁除去に関する調査 （福祉のまちづくり学会法制度特別研究委員会）</p>
論文その他の実績等	<p>2011年 建築学会講演論文 『高齢者福祉施設のあかり要素が環境心理評価に与える影響』</p> <p>2011年 福祉のまちづくり学会講演論文 『壁・床などの環境要素が認知症デイサービス通所高齢者に与える影響』</p> <p>2012年 福祉のまちづくり学会発表 『照明の色温度と空間の色彩が高齢者の環境心理評価に与える影響』</p> <p>2012年 聴覚障害者のバリアフリー（障壁除去）に関する調査 （福祉のまちづくり学会法制度特別研究委員会 WG）</p>

その他PR事項

■福祉のまちづくりと安心・安全のまちづくり■

安全・安心を考えた高齢者と子供たちにやさしいまちづくりを提案します。

普段は気がつきませんが、街のなかにはさまざまな危険が潜んでいます。

ひとつにはハードウェアで、いわゆるバリアフリーとかユニバーサルデザインと呼ばれるものと安全・安心のまちづくりの問題です、もうひとつはソフトウェアで、安全・安心な環境をまちぐるみ・地域ぐるみでどのようななしきみとして実現していくかという問題です。

将来を見据えてのまちづくりを住民の人と協力して提案することが私の仕事です。

